

NEWS LETTER

収納スペースに満足していない方を対象に“断捨離”の実態について調査
“断捨離”経験者の約 7 割が捨てすぎて後悔もしくは再び物を増やしてしまう
～“捨てない選択肢”として活用できるトランクルームをご紹介します～

日本最大級のレンタルトランクルーム「ハローストレージ」を運営しているエリアルリンク株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：鈴木貴佳、以下、エリアルリンク）は、自宅の収納スペースの広さに満足していない方合計 500 名を対象に、収納スペースの確保に関するアンケート調査を実施しました。（調査日：2025 年 5 月 8 日）
本ニュースレターでは、調査結果をもとに、収納スペースを確保するにあたり、困っていることや悩んでいることをご紹介します。

◆収納スペース確保のために最も選ばれているのは「断捨離」！

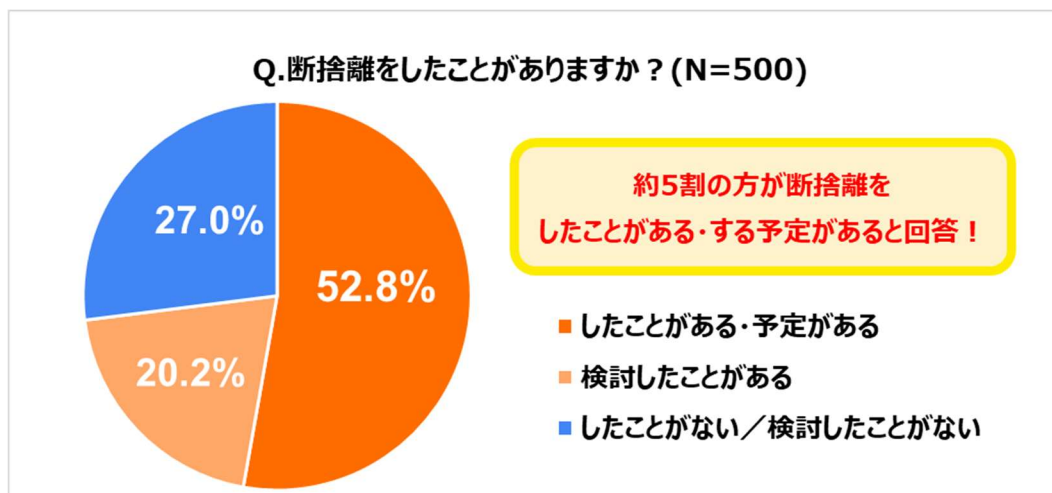
収納スペースの確保として検討していること【複数回答可】（N=500）

順位	収納スペースの確保として検討していること	(%)
第 1 位	断捨離	69.8%
第 2 位	収納場所・方法の見直し	40.0%
第 3 位	収納家具の購入	12.2%
第 4 位	外部収納スペースを借りる	10.8%
第 5 位	広い部屋への引っ越し	9.4%
第 6 位	物置を設置	8.2%

自宅の収納スペースの広さに満足していない方に対して、今後検討している収納対策について尋ねたところ、「断捨離」が約 7 割（69.8%）、続いて「収納場所・方法の見直し」（40.0%）が最も多い結果となりました。

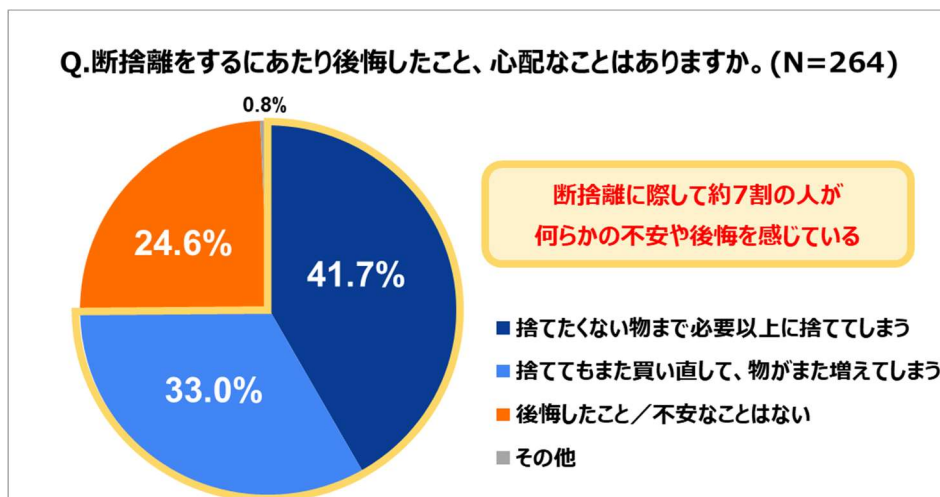
その他では、「収納家具の購入」（12.2%）、「外部収納スペースを借りる」（10.8%）、「広い部屋への引っ越し」（9.4%）、「物置を設置」（8.2%）と部屋以外での収納方法を検討する方も一定数いることがわかりました。

◆約 4 割が断捨離経験者！それでも「捨てられない」との意見も



続いて、収納スペースの確保において最も多かった「断捨離」について、実際に行ったことがあるかを尋ねたところ、「したことがある・予定がある」と回答した方は全体の 52.8%でした。また、「検討したことがある」（20.2%）といった回答も一定数あり、多くの方が一度は「断捨離」について考えた経験があることがわかりました。

◆必要な物まで捨ててしまい、断捨離をして「後悔」する人も多数



次に、断捨離を「したことがある・予定がある」と回答した方に、実際に断捨離をして感じた後悔や不安について尋ねたところ、「捨てたくない物まで必要以上に捨ててしまう」（41.7%）といった、“捨てすぎ”による不安や後悔の声も多く寄せられました。また、「捨てても買い直して、物が増えてしまう」（33.0%）といった断捨離をしたにもかかわらず再び物が増え、買い直しや断捨離の繰り返しに悩む人も少なくないことがうかがえました。

これらの回答を合わせると、全体の約7割の人が、断捨離に際して何らかの不安や後悔を感じているということがわかりました。

◆「断捨離しようと思った理由」は物が増えた以外にも、生活の変化による影響から

断捨離しようと思った理由 (N=365)		
順位	断捨離しようと思った理由	(%)
第1位	「いつか使うかも」と捨てられず物が増えた	35.2%
第2位	思い出の品を手放せず物が増えた	10.8%
第3位	無駄な買い物で物が増えた	9.8%
第4位	気分転換のため	7.2%
第5位	引越して収納スペースが足りなくなった	5.6%
第6位	家族が増え収納スペースが足りなくなった	2.6%

断捨離を「したことがある・予定がある」、「検討したことがある」と回答した方にしようと思った理由について尋ねたところ、最も多かったのは「いつか使うかも」と捨てられず、物が増えた」（35.2%）という回答でした。次いで、「思い出の品を手放せず物が増えた」（10.8%）、「無駄な買い物で物が増えた」（9.8%）となりました。

一方で、「引越して収納スペースが足りなくなった」（5.6%）、「家族が増え収納スペースが足りなくなった」（2.6%）など、住環境の変化による収納不足も、断捨離を決意するきっかけとなっていることが明らかになりました。

◆担当者からのコメント

今回の調査を通じて、自宅の収納スペースを確保する手段として「断捨離」を検討する方が多くいる一方で、断捨離の必要性を感じてはいるものの、物を捨てることに抵抗がある方が少なくないことがわかりました。

特に、写真・アルバムや手紙、お祝い事の際の頂きもの、数回しか使用していない家電やキッチン用品など、「思い出の品」や「いつか使うかもしれない」といった理由から、なかなか物を手放せずにいる方が多く見受けられました。

このような中で、無理に捨てることで収納スペースを確保するのではなく、一時的にほかの場所へ収納するという選択肢に関心を寄せる方も増えてきています。

当社では、コンテナを活用した屋外型トランクルームや、ビルの一フロアまたは一棟を専用に設計した屋内型トランクルーム、さらにはバイク専用のトランクルームなど、さまざまな形態で全国 47 都道府県に展開しています。

トランクルームをご利用いただくことで、季節用品やアウトドアグッズ、引っ越し時の一時収納、断捨離しきれない思い出の品などを効率良く収納でき、生活空間を広く快適に保つことが可能になります。今後も、大切なものを無理に捨てることなく、快適な暮らしを実現できる選択肢として、トランクルームをもっと身近で便利なサービスにしていけるよう、サービス内容の充実や出店拡大に力を入れてまいります。

・ご参考 断捨離を行う際のポイント

当社運営サイト「kurasul」：<https://kurasul.hello-storage.com/article066/>

<調査概要>

対象者：自宅の収納スペースの広さに満足していない方

調査期間：2025 年 5 月 8 日

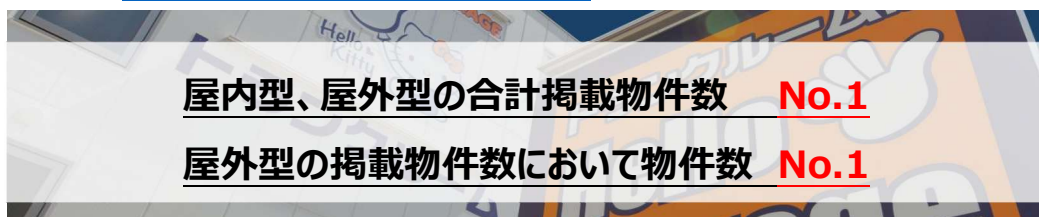
回答数：500 名

調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング QiQUMO を利用）

◆「ハローストレージ」概要

コンテナやビルに設けられたレンタル収納スペースを『ハローストレージ』ブランドとして、2,626 物件、116,648 室（2025 年 4 月時点）を展開しています。ストレージ事業は創業以来の主力事業であり、室数は業界最大規模を有します。屋外型、屋内型のトランクルームをはじめ、建物 1 棟をトランクルーム専用に設計した店舗やバイク専用のトランクルームなど、さまざまな形でサービスを提供しています。

ハローストレージ HP：<https://www.hello-storage.com/>



※2022 年 3 月期 指定領域（※）における市場調査 調査機関：日本マーケティングリサーチ機構

※屋内型、屋外型の合計掲載物件数・屋外型の掲載物件数において物件数 No.1

※「指定領域」＝レンタルスペースの物件数の情報を Web で公開している 8 社

（エリアリンク社独自調査。2022 年 3 月時点のウェブ上での屋内型、屋外型の合計掲載物件数・屋外型の掲載物件数上位 8 社）を

対象として、物件数を No.1 検証調査

◆エリアリンク株式会社 会社概要

社 名：エリアリンク株式会社
所 在 地：東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX ビル北ウイング 20 階
設 立：1995 年 4 月
代表取締役：鈴木貴佳
資 本 金：6,111 百万円（2024 年 12 月 31 日現在）
上場市場：東証スタンダード市場
社 員 数：80 名（2024 年 12 月 31 日現在）
事業内容：ストレージ事業、土地権利整備（底地）事業、オフィス事業、アセット事業
ホームページ：<https://www.arealink.co.jp/>

<本件に関する取材お問い合わせ先>

エリアリンク広報事務局（共同ピーアール株式会社）担当：高杉、瀧澤、田ヶ谷

Tel：070-4303-7247 / Mail：arealink-pr@kyodo-pr.co.jp